
21世紀型社会資本の選択 ヨーロッパの挑戦

竹内佐和子=著
A5判/本体価格1900円
1999年4月2日発行/榊山海堂/03-3816-1617

市民本位の、そして豊かさを実感できる社会資本を創出するために、今何をなすべきか。欧州諸国が挑戦してきた豊かさの設計図づくりの検証を踏まえ、経済戦略会議のメンバーである筆者が緊急提言。

新訂 港湾工学

中山茂雄=著
A5判/本体価格3100円
1999年3月25日発行/榊山海堂/03-3816-1617

港湾を取り巻く状況の変化に対処すべく、最新の資料を追加し、ロングセラーの「港湾工学」がリニューアルした。幅広い知識を要求される港湾工学を学ぶ上で、最適の一冊。

現場技術者のためのシリーズ 建設CALIS / ECポケットブック

菊川 滋=監修 平岡茂明=編著
B6判/本体価格3500円
1999年3月10日発行/榊山海堂/03-3816-1617

昨今の建設業界必須命題である建設CALIS。その基盤として必要なOA化とその上にCALISをどう築いていくか。本書は、その指針・目安を詳しく示す。

フォト・エッセイ

エンジニア・アーキテクト
土木造形家 百年の仕事
—近代土木遺産を訪ねて

篠原修・三沢博昭=共著
B5判・上製・カラー写真196点/本体価格3900円
1999年4月19日発行/榊新潮社/0120-468-465

時代を超えて、新たな規範風景の創造に資する近代土木遺産の数々。明治・大正・昭和と、日本が近代化を目指すなかで集積してきた創意・工夫・知恵・情熱の発露を、達意の文章と写真でつむぐ、発見の旅。

公共事業は果たして悪か 社会資本整備を問う—人文・社会学の発想から

社会資本を考える研究会=編
A5判/本体価格1500円
1999年4月5日発行/榊日経BP社/03-5210-8251

公共事業に対する議論が、土木工学や経済学に偏っていた反省から、社会学、倫理学など人文社会学の観点から、今後の公共事業のあり方を考え、生活者の視点から身近な事例をもとに議論を進める。

身近な土木の歴史 —文化の演出者たち—

為国孝敏=著
四六判/本体価格1700円
1999年3月31日発行/榊東洋書店/03-3269-2961

ごく普通の人に向けて、土木の歴史の一端(鉄道と近代土木遺産を基軸に)を楽しく、おもしろく記述したもの。土木史研究者の著者が、身近な土木の世界を独特の視点で展開。土木へのいざない書として期待大。

創造性と大都市の将来

小林潔司・Å.E.アンダーソン=共著
A5判/本体価格2600円
1999年4月8日発行/森北出版(株)/03-3265-8341

都市の発達と衰退のメカニズムを、ホンダ賞を受賞したロジスティック革命の概念により解説し、学際的な知識ネットワークの重要性を詳述。また、激動の時代こそインフラの持続的な地球規模の必要性を提言している。

知識社会と都市の発展

小林潔司=編著 文 世一・奥村 誠・渡辺晴彦=共著
A5判/本体価格3000円
1999年4月10日発行/森北出版(株)/03-3265-8341

われわれはどのような社会に到達しようとしているのか。来たるべき知識社会において、都市や都市圏が創造的発展をとげるための基本的な考え方と今後の研究や政策の方向性を論ずる。

地震工学概論

元田良孝・萩原良二=共著
A5判/本体価格2200円
1999年3月27日発行/森北出版(株)/03-3265-8341

土木技術者、理工系の学生および社会人に地震と地震工学に関する基礎的な知識を提供することを目的に執筆されたものである。また、今までになかった特徴として、地震対策の実務面にも触れている。